SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2)

						Ė	EなSDGs	(17ゴー	-ルと169	ターゲッ	ト)関連項	目	
カテ	非該	 チェック項目	取組	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	3 4	5	3 7	8 9	10 11	12 13	14 15	16 17
ゴリ	当	アエソソ現日	レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	tim 2 mi	3 12545 -W*	5 mg (6 mg)	Ö		10::::::::::::::::::::::::::::::::::::	13 III.	14 Str	16 22 17 22 23
1		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差 別がないことを確認している	基本	差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している (研修の実施、相談窓口の設置)			5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3			16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備 している	基本	職員面談時の確認項目として展開。経営トップが積極的に関与する。			5.1 5.2 5.5		8.5 8.8				16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・長時間労働是正のための専門管理職の配置 ・在宅勤務等、業務により多様な働き方を許容する勤務体制 の整備・対応を行っている					8.5 8.8				
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人受け入れ時の場合の研修会等に参加し備えを整え る。		4.4			8.7 8.8	10.2 10.3			
5 人		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・月曜ミーティング時に労働安全衛生について時間を設ける。 ・安全大会の実施や取引業者への安全大会に参加。		3			8				
労 6 働		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	健康経営のツールを使い定期的にメンタルヘルスアンケート を実施し対策を考える。		3							
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	男女問わず家事育児の両立を目指し定期的面談を実施し環境を整備する。			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3			
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	資格支援プロジェクト進行中		4	5.5		8 9				
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	外部専門家による定期確認			5.5		8.5	10.2 10.3			
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	健康企業宣言中		3			8				
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	廃棄物削減のための社内見えるかBOX設置中、社内衛生管理者による確認。						11.6	12.4	14.1	
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	各エネルギーを管理者が毎月報告周知し、エネルギー削減 に向け課題を提供する。				7.3			13		
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	電気使用器具は省エネ対応を購入し使用し、各エネルギーを管理者が毎月報告周知し、エネルギー削減に向け課題を 提供する。				7.2 7.3			12.4 13.3	1	
₁₄ 環 境		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組ん でいる	基本	現在取扱いはないが、社内衛生管理者が備品管理システムで把握できるよう構築済		3.9	6	.3		11.6	12.4		
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	現場責任者及び管理技術者で業務レビューの必須条件と なっている。			6	.6				15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	社内衛生管理者が定期的に確認。備品管理システムで把握 反映できるよう構築済							12.5	14.1	
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ				6	.4 .6					

九二 ±⇒		1					主な	SDGs	(17	'ゴールと	:169ター	ゲット)阝	連項目			
カテ 非該ゴリ 当	非該	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、	1 2	3	4	5 6		7 8		11 12		15	16 1	7
ゴリ	当	7 = 77 25		併せて記載してください。)	1.500 hithit	3 1111111 -W+	188° 5 :	Ţ Ŭ	7:3	· ·	9 51.000	11 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1	13 114 117	15 :	6 == 17 ac 2 8	83 9
18		【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			3.9		6	5)	7		12	13.3 14			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ									12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ						7	7.2			13			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ									12.2	13 14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス研修等を、役員会・部門長を対象に定期的に実施。ミーティング時に報告を行う。											16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス研修等を、役員会・部門長を対象に定期的に実施。ミーティング時に報告を行う。											16	
²⁴ 公 正 な		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	IPA(セキュリティー自己宣言取得済)						8.2 8.3	9					
な 事 25 慣 行		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	IPA(セキュリティー自己宣言取得済)											16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ												16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の 防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、 共に取り組んでいる	チャレンジ					5		8	10	12	13 14	15	16 1	7
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	社内照査を専門部署でシステムとして構築済。一部外部監査を不定期に実施し安全性を確保中。		3.9						12.4				
製 29 品 ・ サ		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	社内照査を専門部署でシステムとして構築済。一部外部監査を不定期に実施し品質維持を確保する。							9					
デ 30 ス		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	インフラ整備に欠かせない事であり、業務は必須であり社内照 査項目の項目に列挙。				6	5			12	13 14	15		
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1 2	3	4	5 6	j	7 8	9 10	11 12	13 14	15	16 1	7

							主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目												
		非該	チェック項目	取組	具体的な取組(埋などの取得認証があれば	1	2 3	4	5	6	7 8	3 9	10	11 12	13	14	15	16 17	
		当)	レベル	(県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	100 hiện	2 ::: 3 12182 -W	4 Xenome	§	6	9 1	1	10 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	12	13	14 :::**	15 ***	16 sees	
32	, ; ;		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	当社の業務いおいて必須であり、業務レビュー時や社内照査 において必要項目として掲載してある。			4				9		11 12		14	15	17	
33	也或复献。		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	会社周辺のごみ拾いは毎週実施、各種団体の活動にも積極的に参加している。			4						11		14	15	17	
34	-		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	備品購入や資材の提供先及び福利厚生は地元優先						3	3 9		11 12	13				
35			【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	月曜ミーティング及び各期のキックオフミーティングで共有し 展開事例の報告会も開催している。						3	3 9						17	
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンス研修等を、役員会・部門長を対象に定期的に実施。内容をミーティングで報告及びグループウエアで公開中													16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	経営企画室で担当している。													16	
38	組織		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※) との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	経営企画室及び品質管理チームで把握担当している。職員にも報告している。													16 17	
39	体制		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	業務レビューでリスク及びマネジメント管理を行っている。													16	
40			【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動 が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	コンプライアンス研修等を、役員会·部門長を対象に定期的に実施。内容をミーティングで報告及びグループウェアで公開中。													16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	国土交通省『事業継続力計画書』提出済							9		11	13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	商工団体や金融機関等のセミナーに参加している。						3	3 9						17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組 1	2	3	4	5	6	7	8	9 10	11	12	13	14 1	5 16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取 り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)